ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.6(0369A150)	調査位置				北　緯	37 ° 05 ' 10.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所		調査期間	2008-09-05 ～ 2008-09-10		東　経	139 ° 54 ' 10.0000 "
調査業者名		主任技師		現　場 代 理 人	コ　ア 鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔 口 標 高	770.04 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	試 錐 機	ハンマー落下用具
総 掘 進 長	13.01 m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 40.00 °	使用機種		エンジン	ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1 2	767.54	2.50	2.50		粘土混じり砂礫 (GS-C)	褐灰	緩い		崩積土(改変に伴う押し出し土と思われる) 風化岩塊を含む礫混じり土砂状を呈す 堆積状態は極めてルーズである		
3 4 5 6 7 8 9	760.44	7.10	9.60		風化凝灰角礫岩 (Tb)	褐灰～灰褐			著しく風化の進行した凝灰角礫岩 コアは転石(玉石)混じり土砂状となる 捕獲礫のみ柱状コアで採取される 岩級区分はD級に相当する		09/08 09/09
10 11 12 13	757.03	3.41	13.01		凝灰角礫岩 (Tb)	淡青灰～青緑灰			9.6～10.0m間 コアは細礫～岩片状を呈す 10.0m以深,亀裂多いものの密着しており採取コアは円柱状となる 全体に捕獲礫の混入多い 岩の硬さは堅硬で比較的新鮮である 岩級区分はCMクラスに相当する		09/10 09/11

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	2	1	2	5／30	5
1.45					
2.15	2	2	5	9／30	9
2.45					
3.15	50／3			50／3	>50
3.18					
4.15	35	15／3		50／13	>50
4.28					
5.15	16	34／5		50／15	>50
5.30					
6.15	36	14／4		50／14	>50
6.29					
7.15	24	26／8		50／18	>50
7.33					
8.15	50			50／10	>50
8.25					
9.15	15	35／9		50／19	>50
9.34					
10.00	50／1			50／1	>50
10.01					
11.00	50／1			50／1	>50
11.01					
12.00	50／1			50／1	>50
12.01					
13.00	50／1			50／1	>50
13.01					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日